

# CUIC のローカル NTP クライアントに関する Syslog メッセージのトラブルシューティング

## 目次

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[第 1 の原因](#)

[解決策](#)

[第 2 の原因](#)

[解決策](#)

[RTMT の問題](#)

## 概要

このドキュメントでは、ローカルの Network Time Protocol ( NTP ) クライアントが、リモートの NTP システム ピアからの 3 秒間の許容しきい値より長い時間オフの場合、Cisco Unified Intelligence Center ( CUIC ) で発生する問題について説明します。この問題の解決方法も記載されています。

## 問題

次の syslog メッセージが表示されます。

ローカルの NTP クライアントが、リモートの NTP システム ピアからの 3 秒間の許容しきい値より長い時間オフになっています。通常の解決策は、NTP ウォッチ ドッグに自動的に NTP を再起動させることです。ただし、異常な数の自動 NTP 再起動がすでにこのノードで発生しています。NTP の時間同期が安定するまで、追加の自動 NTP 再起動は行われません。これは、過度な VMware 仮想マシンの移行またはストレージ VMotions に起因する可能性が高いです。VMware インフラストラクチャ サポート チームにお問い合わせください。

## 解決策

このセクションでは、この問題に対する 2 つの考えられる原因とその解決方法について説明します。

### 第 1 の原因

1 つ以上の NTP サーバが設定され、それらが適切に同期していないため、syslog に前述の NTP メッセージが表示されます。

## 解決策

追加した NTP サーバを取り除き、新しいライセンスを生成します。これが完了すると、この NTP syslog メッセージはクリアされます。

## 第 2 の原因

CUIC に使用可能なスペースがありません。

## 解決策

CUIC バージョン 9.0(1) 以降では、新しい CLI コマンドが導入されたため、通常の CLI アクセス経由でファイルを削除できません。したがって、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) 経由のルート アクセスは必要ありません。

セカンダリ ノードで `file delete activelog /cuic/logs/jmx/*.log noconfirm` コマンドを入力し、`jmx.log` ファイルを削除します。この例では、コマンドの入力後にディスク使用率が 77% に削減されました。

	Total	Free	Used
Disk/active	27087452K	15555208K	11257052K (42%)
Disk/inactive	27087420K	14989416K	11822812K (45%)
Disk/logging	94235980K	20874792K	68574224K (77%)

2013 の CUIC ログを削除するには、プライマリ ノードで次のコマンドを入力してください。

- `file delete activelog /cuic/logs/cuic/CGBU-cuic.2013* noconfirm`
- `file delete activelog /cuic/logs/cuic/ERROR-cuic.2013* noconfirm`

今後この問題に対しては、`show disk usage common directory sort` コマンドを入力し、最大サイズのディレクトリを特定し、その出力に基づき、ログ ファイルを削除します。ただし、通常はこのセクションで説明したファイルの削除で十分です。

## RTMT の問題

syslog メッセージを開こうとすると、リアルタイム監視ツール ( RTMT ) がフリーズする場合があります。これは syslog メッセージのサイズが 123 MB と、大きすぎるために発生します。

ルート アクセスで、`[var] > [log] > [active] > [syslog] > [messages]` に移動し、ファイルの中身をきれいにします。これが完了すると、RTMT はファイルを開くことができます。

注: NTP を再起動し、メッセージが記録されていることを確認する必要があります。